

SAF HEADQUARTERS



サマーセッションプログラムの開発

Carol Carmody
SAF Vice President

SAFでは半期または1年間の留学プログラムに力を入れてきましたが、アジア全体での夏季留学プログラムのニーズの高まりを受け、2013年夏より、サマーセッションへの学生派遣を開始しました。サマーセッションとは、海外の大学で夏季休暇期間中に開講される学部授業のことで、一般の学期期間中に行われる授業よりも一回の授業時間が長く、また授業の間隔を短く凝縮することで通常よりも短期間で完結します。通常の学期に開講している授業と内容が同じであり、取得した単位は卒業単位として認められるため、海外の大学、主にアメリカにて広く普及しています。

SAFでは、キャンパス環境、開講科目数、大学による学生サポートなどにおいてアジアの学生のニーズに合う大学をネットワーク大学の中から選択し、初年度はコロンビア大学、カリフォルニア大学バークレー校、カリフォルニア大学ロサンゼルス校、ペンシルバニア大学のサマーセッションへ、合計119名の学生を派遣しました。派遣学生の国籍別内訳は、中国から92名(内5名は香港)、中国台湾から20名、

日本から7名となっています。

日本においては、慶應義塾大学理工学部と協力をし、2013年より主にアメリカの大学のサマーセッションに学生を派遣し、アメリカの大学生および世界各国の留学生と一緒に勉強する機会を提供しています。2013年の実績は、カリフォルニア大学バークレー校へ5名、カリフォルニア大学ロサンゼルス校へ1名でした。同学部はサマーセッションの留学プログラム立ち上げに際して、3年次のカリキュラムに4学期制を導入し、2学期目となる6月～7月に留学をした場合でも、その後の履修計画に支障が出ない仕組みを導入しました。SAFでは、日程や開講科目、また各大学の強み等を加味し、同学部のニーズに合う大学をSAFネットワーク大学の中から選定するなど留学プログラムの立ち上げをサポートし、2013年4月より同大学の学生のための留学プログラムの運営を行っています。

各アジアでのサマーセッションのニーズの高まりを受け、SAFアメリカ本部ではより多くの大学へ学生を派遣できるよう留学先大学の開拓を行っていく予定です。

SAF留学プログラム参加学生からのメッセージ

University of Otago 学部授業履修プログラム (2013 Academic Year)

慶應義塾大学
経済学部経済学科 /3年
五十嵐 裕俊 さん



私にとって留学とは、いい意味でも悪い意味でも「価値観を刺激すること」ができた場だと

考えています。私は、留学中になるべく沢山のひとと出会うことを意識していました。オタゴ大学では、多様なバックグラウンドを持った学生が数多く在籍しています。人種、出身地、年齢等、とにかくバラエティーに富んでおり、人との新しい出会いが必ず新しい発見や気づきを私に与えてくれました。雑談力、行動力、前向きな姿勢の三つを意識して約9か月間の留学生活を終えることで多様な刺激を得ることができたと思います。

私は、現地の大学のビジネスケースクラブで活動していました。クラブには、現地の優秀な学生が多く在籍しています。実際に議論する内容等は、事前の準備によってカバーできるものが多くありました。しかし、欧米では人の信頼を勝ち取るために日常での雑談が大きな役割を果たしており、私はこの部分で苦労しました。会話のスピード、自己主張の強さ、会話の引き出しの多さ、機転の効いたジョーク等、このクラブでの活動

が英語での雑談力を引き上げてくれました。

また、授業のクラス委員、ケースクラブの広報担当、30人という大所帯の登山旅行の企画責任者等、留学中に与えられたチャンスには全てチャレンジする精神を貫きました。このような形でコミュニティに深くコミットすることで、出会った人々とも深い関係を築くことができました。考えを行動に移すスピードと推進力を持って活動することで、幅広い人間関係の構築が可能となりました。

最後に、異国の地に一人で生活していると、多くの問題に立ち向かわなければなりません。留学中に私は、毎日の料理が不味いといった些細な問題から、人間関係の不安・文化理解不足・言語障壁から発生した課外活動での責任問題等、大小様々な問題に直面しました。その際に、問題を前向きに捉えて解決策を模索していく姿勢が、モチベーションを高い状態で維持して毎日を楽しむ生活していくことに繋がりました。

この三つの点を意識して留学することで、変化はせずとも「価値観を刺激」することになり、私の視野を広げてくれたと思います。

SAF日本事務局 スタッフ紹介



SAF日本事務局
ディレクター
ブレット・ラミンジャー



SAF日本事務局
副ディレクター
大学担当
留学プログラム開発
松田 晴子



SAF日本事務局
副ディレクター
プログラム運営・学生支援
福田 久美子



大学担当
留学プログラム開発
マネージャー
廣見 道子



プログラム運営・学生支援
マネージャー
児玉 有子



プログラム運営・学生支援
マネージャー
藤本 実千代



プログラム運営・学生支援
プログラムコーディネーター
菊池 祐介



プログラム運営・学生支援
プログラムコーディネーター
折目 真由美



プログラム運営・学生支援
プログラムコーディネーター
ウエンゲル 和加子



プログラム運営・学生支援
プログラムコーディネーター
土開 稚子



プログラム運営・学生支援
プログラムコーディネーター
中里 祥子



プログラム運営・学生支援
プロジェクトオフィサー
大澤 博子



プログラムコーディネーター
立教大学
異文化コミュニケーション学部
宮谷 萌



プログラム運営・学生支援
プログラムコーディネーター
慶應義塾大学
短期海外研修プログラム担当
細井 美那



SAF JAPAN NEWSLETTER



THE STUDY ABROAD FOUNDATION
AN INTERNATIONAL UNIVERSITY NETWORK

2014 New Year Edition

第2回 SAF Alumni Association 総会の開催報告

2013年11月9日(土)、第2回SAF Alumni Association総会を国立オリンピック記念青少年総合センターにて開催しました。昨年の第1回記念総会に続き、今年も帰国生・社会人OB、留学予定学生が一堂に会しました。

第一部では、「留学経験者はグローバル人材か」をテーマに、ワールドカフェと呼ばれる対話型ディスカッションの手法を用いて白熱した意見交換がなされました。帰国生とこれから留学する学生の意見が、グループごとに配られた模造紙の上にカラフルに広がっていく様子は頼もしいものでした。参加者同士で、果たして自分たちはグローバル人材なのかについて話し合った後、実際大手企業で採用担当を務める方、国際的な仕事をされた後に学校経営に従事されている方、海外インターンシップなどの企画を手がける方をパネリストにお迎えして、この3名の方々が考えるグローバル人材像について意見を聞く事ができました。社会経験豊富な方からできる厳しくも的確な意見を聞くことができ、これから留学をする参加者からは、留学をする目的を改めて考える良い機会になったという声が多数あがりました。帰国生も、実際の留学経験をこの先自分のキャリアにどのように活かして



いけるのかについて、発見した様子でした。

第二部は、学生ボランティアが主体となって企画した懇親会が催されました。参加者同士の親交が深まるように、懇親会の最初に参加者同士が自己紹介を行った後、グローバルテーマに関するクイズ大会も開催され、和やかなうちにあつという間に懇親会が終了しました。留学経験者にとっては自己の経験を再確認する機会に、留学希望者にとっては経験者からのアドバイスや情報が得られた貴重な時間となりました。

今後は年次総会だけに留まらず、留学先大学別や留学年度毎でも同窓生が活発に交流し、ネットワークを広げていける場としてSAF Alumni Associationが活用されることを願っ

当日のプログラム

- 第1部 総会 12時00分～14時00分**
1. 開会の辞～Alumni Association 会長 奥村 敬生～
 2. ワールドカフェ(全員参加型ディスカッション形式アクティビティ)
『留学経験生はグローバル人材になりえるのか?』
 3. パネルディスカッション
『グローバル人材は日本をどう変えるか?』
- | パネリスト |
|-----------------------------|
| ● 桜庭 千明氏(インターンシップ・ファシリテーター) |
| ● 40代男性社員(大手企業 人事担当者) |
| ● 太田 真美子氏(大学講師/キャリアカウンセラー) |
4. 閉会の辞
～SAF日本事務局ディレクター ブレット・ラミンジャー～
- 第2部 懇親会立食パーティー 14時30分～16時30分**

ています。SAF Alumni Associationフェイスブックページも立ち上げ、これからのSAF同窓生ネットワークの広がりが益々楽しみです。

UCL-SAF 長州五傑150周年記念 海外留学奨学金

幕末に長州藩士5名の若者(長州五傑:井上多聞/遠藤謙助/野村弥吉/伊藤博文/山尾庸三)がUniversity College London (UCL)へ留学してから150周年を迎えることを記念して、UCLおよびSAFスタディ・アブロード・ファウンデーションでは、UCLへ留学する

大学生を対象とした奨学生の募集を行います。
【金額】
3000ポンド
【留学対象プログラムの詳細】
・大学名: University College London (UCL)

・プログラム名: 学部授業履修プログラム
・留学期間: 2014年9月～2015年6月(1年間)
【対象者】
留学対象プログラムの出願要件を満たすSAFメンバー大学在籍の学生1名

SAFネットワーク校一覧

アメリカ アーカンソー大学 アイオワ大学 アメリカン大学 アラバマ大学 アリゾナ州立大学 アリゾナ大学 インディアナ大学 カリフォルニア大学 サンタバーバラ校 カリフォルニア大学 サンディエゴ校 カリフォルニア大学 バークレー校 エクステンション カリフォルニア大学 リバーサイド校	カリフォルニア大学 ロサンゼルス校 コロラド州立大学 コロラド大学 ボルダー校 コロンビア大学 ゴンザガ大学 サンノゼ州立大学 サンフランシスコ州立大学 ジョンス・ホプキンス大学 セント・トーマス大学 テキサスA&M大学 デュルクセル大学 ニューヨーク州立大学 バツファロー校 パテュー大学 バーモント大学 ハワイ大学 ヒロ校	バンダービルト大学 ペンシルバニア大学 マウント・ホリオーク大学 ミシガン州立大学 ミネソタ大学 モンタナ州立大学 モンタナ大学 ユタ大学 ウシントン大学国際関係学部 ISAYAインスティテュート カナダ カルガリー大学* トロント大学* ビクトリア大学 イギリス ウェストミンスター大学	エジンバラ大学 オックスフォード大学 セント・アーンズ・カレッジ グラスゴー大学 ブリストル大学 ロンドン芸術大学 ロンドン大学 クイーン・メアリー校 ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン アイルランド アイルランド国立大学 ダブリン校* リムリック大学 オーストラリア ウーロンゴン大学	クイーンズランド大学 ニューサウスウェールズ大学 マククローリー大学 ニュージーランド オタゴ大学 ビクトリア大学 ウェリントン ヨーロッパ言語 フランス: アンジエ・カトリック大学* スイス: ローザヌヌ大学 ドイツ: ライプツィヒ大学 スペイン: マラガ大学 レオン大学*	SAF国際キャリア開発プログラム アメリカン大学 ワシントン・セメスター・プログラム エジンバラ大学 バーバメント・インターンシップ・プログラム FIE ロンドン・インターンシップ・プログラム FIEロンドン春短期4週間 国際キャリア開発プログラム AICニューヨーク/シンガポール春短期4週間 国際キャリア開発プログラム
--	---	---	---	---	---

*語学強化プログラムのみの提供となります。

グローバル人材の育成：昭和女子大学の試み



昭和女子大学
国際交流センター
次長
山崎 真伸 様

「グローバル人材」とひとことで言っても、その具体的な人材像は立場によっても異なり、コンセンサスが得られているとは言えない状況です。その中で、本学では、近い将来予想される日本社会、すなわち仕事においても地域社会においてもより多文化・多国籍化の進んだ社会の中で、自らの役割を發揮できる人材をグローバル人材と考えています。このため、グローバルリーダー育成型のプログラムよりも、全員が留学してその中でグローバルマイン

ドを醸成していくプログラムを中心にデザインしてきました。

その中心にあるのが、米国ボストンにある昭和ボストンです。昭和ボストンは、設立25周年を迎える本学のサテライトキャンパスであり、長期短期合わせて毎年400名近い学生が学んでいます。その最大の特徴は、現地コミュニティでのボランティア、提携大学の学生との合同プロジェクトなどのさまざまな交流プログラムですが、昨年グローバル人材育成推進事業に採択されたことを機に、これらの既存プログラムに加えて、ポスト・ポストプログラムの開発を進めています。昭和ボストンの体験を通して、学生は語学力だけでなく、文化、生活、学習方法などさまざまなことを学

びますが、これらの学びを基礎に次の留学に進むことで、学習の質は格段に向上することが明らかになっています。

このようなポスト・ポストプログラムを展開するうえで、SAFとの連携は欠かせないものとなっています。その豊富なネットワークを利用して、学生たちはさまざまな大学に留学することが可能となり、またそのための事前相談も非常に丁寧に行っていただいています。さらに来年度からは、共同で開発したボストン地区での4週間の集中プログラムがスタートしますが、このような特別プログラムを開発できる力を持っているところも、SAFの強みの一つだと思います。今後もさまざまな形でSAFと連携していけることを期待しています。

第2回 International Advisory Councilの実施報告

2013年1月8日にメンバー大学である中央大学のご協力のもと、メンバー大学の会合である第2回 International Advisory Council (IAC) を開催しました。SAF全体活動報告に続き、アメリカ本部 Fumie Ichikawa より、留学の活性化に成功しているパーデュ大学の戦略と Study Abroad Office の組織作りについて、内部的な視点よりアメリカの大学の成功事例が紹介されました。また、China Scholarship Council (CSC) の Mr. Zhixue Dong、立命館大学の堀江未来先生より基調講演をいただき、様々な視点より国際化について考える良い機会となりました。



立命館大学
国際部副部長 / 国際教育推進機構
准教授
堀江 未来 先生

私達国際教育に関わるものは、海外留学が人間の成長発達に大きな意味がある、ということを経験的に理解し、信じていますが、そういった成長のメカニズムについて、実際に国際教育の現場で詳細に議論されることは多くありません。グローバル人材育成に対する社会の要請は年々強まっており、グローバル社会に対応するための国際教育の必要性や、大学として海外留学プログラムを提供することの意義については頻りに議論されるものの、果たしてその教育の中で学生個人がどのように成長しているのか、その成長が個人の幸福にとってどのような意味があるのか、そういった点は現場では当然のこととして扱われているように感じます。

今回は、そのメカニズムを多面的に理解す

るために、教育心理学の立場から以下の三つの理論を紹介しました。

- ・異文化感受性の成長モデル (Bennett 1993)
- ・アイデンティティの発達モデル (Erikson 1959)
- ・「ジョハリの窓」理論 (Luft & Ingham 1955)

以上の理論にのつとれば、海外留学が個人にもたらす効用としては、多様な文化的価値観や行動様式の中でもまれながら、それぞれが自分らしさを認識していくこと、そして多文化アイデンティティを進展させながら人生の選択肢を自分自身で構築していくこと、そして、複数の社会文化の間を柔軟に行き来しながら、社会の中で一定の役割を果たしていこうとする力をつけること、などの点を導くことができるといえます。つまり、この先の変化の激しい社会において一人としてそれぞれの個性を存分に発揮して生きていけるような人間力を育てることが、理論的には可能であるというであり、個人的にはこの点を国際教育の主たる意義として捉えていきたいと考えています。

SAF日本事務局の活動内容

【設立】2000年
【活動使命】SAFは大学生の国際交流促進という使命のもと、国際的な大学ネットワークを組織し、1学期から1年間の質の高い留学機会を学生に提供することを目的としています。
【活動種類】
①留学プログラムの提供
「ジェネラル・プログラム」
交換／協定留学以外の認定／私費留学オプションとして、国際センターとの協力提携のもと、SAF留学プログラムを学生に提供します。

【カスタム／セミカスタム・プログラム】
特定の学部・学科におけるグループ留学プログラムを大学と共同企画・運営します。カリキュラムに組み込まれた留学プログラムを担当するため、大学のニーズやプログラムの規模に応じて専任の SAF プログラムコーディネーターが大学内に常駐します。
②専門知識・人材の提供
大学内の留学プログラムの運営や学生アドバイス等の国際関連業務に対して専門知識の提供ならびに必要な応じた SAF のスタッフ派遣を実施しています。
【メンバー大学】 桜美林大学、沖縄国際大学、関西学

院大学国際学部、慶應義塾大学、駒澤大学、信州大学、昭和女子大学、中央大学、東京理科大学、東洋大学、南山大学、日本女子大学、明治大学、立教大学 (2014年1月現在)

【加盟に必要な手続き】

メンバーシップの形態	手続き	費用
フルメンバー	MoU	入会金・年会費など メンバー費不要
カスタム・プログラム	契約	各大学・特定学部 との契約に基づく

中央アジアにおけるSAFの活動について

SAFでは東南アジアに続き、中央アジアにおけるネットワークの強化をに力を入れており、現在は主にカザフスタンの大学との協定を進めています。既にNazarbayev UniversityおよびKazakhstan Institute of Management, Economics and Strategic Research (KIMEP) がSAFネットワーク大学に加盟し、2014年度のサマーセッションから、学生派遣が開始される予定です。初めての中央アジアのメンバー大学となったNazarbayev Universityは、カザフスタン大統領Nursultan Nazarbayevのリーダーシップのもと、2009年にカザフスタンの首都アスタナに設立された国立大学です。カザフスタン国内の教育再生を促進しているNazarbayev Intellectual SchoolsとThe Nazarbayev Endowment Fundと法的なつながりがあり、学生数1,500人という小規模の

大学ですが、国際色豊かな教授や研究者が、世界レベルの教育と研究を行っています。高等教育制度が発展途上にあり、人口も少ない中央アジアにおける活動は、今までの活動とは異なりSAFにとって大きな挑戦となることが予想されますが、高等教育の国際化や学生のモビリティ促進における明確なビジョンを持つ大学と共に、中央アジアの国際化に貢献していきたいと考えています。



Nazarbayev University

Chinese Higher Education on International Collaboration: Scholarship Program and Best Practices



Mr. Zhixue Dong 董志学
Director, Division of American and Oceanian Affairs
China Scholarship Council 国家留学基金管理委员会

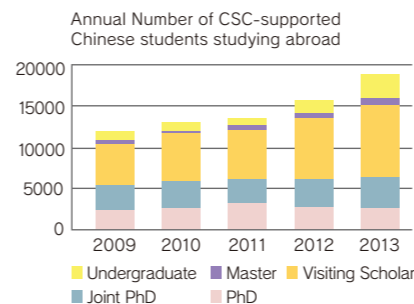
現在中国には3,601の高等教育機関があり、大学院課程を提供している大学とリサーチ機関が811校、学士課程を提供している大学・カレッジおよび独立機関が1,145校、職業訓練校が1,297校、その他の高等教育機関が348校となっています。China Scholarship Council (以下CSCに省略)はMinistry of Educationと連携した非営利機関であり、中国人学生および研究者等の海外派遣および留学生の受入に関する政府の奨学金事業を行っています(図1参照)。中国高等教育の国際化は、政府のサポートと大学の主体的な動きにより進められています。政府では、中国の大学と海外の大学との研究連携を促進するための研究者交流やキャンパスの国際化を図るための“Study in China”プログラム、中国国内

におけるNew York University (上海)やKean University (温州)等のJoint Schoolの立ち上げや海外でのJoint Schoolの立ち上げ等を支援しています。一方、大学のイニシアティブにより進められている事業としては、Dual DegreeやJoint Degreeの立ち上げ等が挙げられます(図2参照)。今後、中国国内の国際化を更に進めていくためには、グローバルランキングとマッチした留学の促進や単位移行を可能にする制度の整備、留学派遣数を増やすための資金制度やインフラの整備、より深い異文化や異なる言語への理解等が必要であると感じています。
※2014年1月8日実施した基調講演の内容です。

ダブルディグリープログラム、ジョイントディグリープログラムの状況(図2)

Double Degree Programs	
PhD	East China Normal U/GENS
Master's	Tsinghua U/RWTH Aachen
Master's	Wuhan U/TU Munich (Surveying and Mapping)
Master's	BFSU/Nanjing U/U of Goettingen (German Studies)
Master's	Nanjing-U of Goettingen (Law)
Bachelor/Engineering Diploma	China/France 4+4 (4 Chinese Universities + 4 French Universities)
Joint Degree Program	
Joint PhD Program	Peking University/ Georgia Tech Biological Engineering Joint PhD Program

中国人学生の海外派遣における奨学金支給数(図1)



SAF アジアメンバー大学一覧

日本
中央大学 関西学院大学国際学部 信州大学
桜美林大学 明治大学 昭和女子大学
日本女子大学 南山大学 東京理科大学
慶應義塾大学 沖縄国際大学 東洋大学
駒澤大学 立教大学

韓国
Catholic University of Korea
Chonbuk National University
Chonnam National University
Chung-Ang University
Chungbuk National University
Dankook University
Dongguk University
Hankuk University of Foreign Studies
Hanyang University
Hongik University
Incheon National University
Inha University
Kangwon National University
Kongju National University
Kookmin University
Korea University
Kyungpook National University
Myongji University
Pohang University of Science and Technology
Pusan National University
Seoul National University
Seoul Women's University
Sogang University
Sookmyung Women's University
Soongsil University
Sungkyunkwan University
University of Seoul
Yonsei University

中国
Beijing Forestry University
Beijing Institute of Technology
Beijing Jiaotong University
Beijing Normal University
Beijing University of Chemical Technology
Beijing University of Posts & Telecommunications
Capital Normal University
Central China Normal University
Central University of Finance & Economics
China Pharmaceutical University
China University of Mining & Technology Beijing
China University of Petroleum
China University of Political Science & Law
Communications University of China
Dalian Maritime University
Dalian University of Technology
Dongbei University of Finance & Economics
Donghua University
East China Normal University
East China University of Political Science & Law
East China University of Science & Technology
Fujian Normal University
Fuzhou University
Guangdong University of Foreign Studies
Hainan University
Huazhong University of Science & Technology
Hunan University
Jinan University
Lanzhou University
Nanchang Hangkong University
Nanjing University of Aeronautics & Astronautics
Nankai University
North China Electric Power University
Northeast Normal University
Northeastern University
Office of Pilot Software Engineering Schools (MOE)
Shaaxi Normal University
Shanghai Finance University
Shanghai Institute of Foreign Trade
Shanghai Jiaotong University
Shanghai Maritime University
Shanghai Normal University
Shanghai University of Int'l Business & Economics
South China University of Technology
Southeast University
Southwestern University of Finance & Economics
Tianjin University
Tongji University
University of Electrical Science & Technology in China
University of International Business & Economics
University of Science & Technology Beijing
Xiamen University
Zhongnan University of Economics & Law

中国台湾
Feng Chia University
National Chiao Tung University
National Chung Cheng University
National Taiwan Normal University
National Taiwan University
National Tsing Hua University
National Yang Ming University
Tunghai University
Yuan Ze University

ブルネイ
Universiti Brunei Darussalam

カザフスタン
KIMEP; The Kazakhstan Institute of Management, Economics and Strategic Research
Nazarbayev University

(2014年1月現在)